

市政を問う

32人が一般質問

小城市誕生後、初めての一般質問が六月十七日から二十四日まで六日間行われ、三十二人の議員が通告にもとづいて市政全般にわたり、江里口市長をはじめ執行部に一問一答方式で七十二問の質問を行いました。一議員、質問答弁あわせて六十分の時間制限を設けて行いました。

一般質問は、質問順に記載する予定でしたが、写真があるところと、無いところがあり、紙面づくりの都合上、順序をかえております。

下村 仁司 議員



芦刈町

合併による職員
給与増額はなぜ

問

合併直前の給与引き上げは、住民の理解は得られないと新聞で報道され、新市で定め

答

(市長)

合併市町村の職員の勤務成績、能力などは無関係に、他の職員と比べて不公平に処しては

る給与水準モデルにあわせ、段階的に調整し五年後に一本化すると四町長会で確認されているのにも関わらず給与水準モデルはいつ決められたのか。市長未定の四月一日に職員給与大幅増額はなぜか。

問

住民サービスである補助金はオール

減額しながら、事務方である公務員が四月一日に

ならないという趣旨であり、一月に旧四町町長会で、五年以内つまり平成二十二年三月三十一日までに四町職員間の給与格差の均衡を図ることを確認しています。給与水準モデルは合併前に事務局サイドで検討し、決めております。

答

(市長)

この新しい給与について最終的に決定されたというの、事務方で示した案を了承したという事で職務執行者に既存しているのではと思っています。

月額五万六千七百円も値上げし、新市長も未定の時に誰の権限でできるのか。納得できない。

問

地域公共ネットワーク施設の利活用は

行政や観光、イベントや議会中継などの情報を町民皆様いち早く伝達するサービスとして、さらに電子自治体構想やケーブルテレビにつなげるための基盤整備として取り組まれたが、小城市となり、三千万かかった議会中継装置は不要となり設置した二

答

(市長)

すでに活用していません、IP電話回線として公共施設の電話の内線化、無料化、電子メールや会議、スケジュール管理を行う行政の情報化システムの通信回線として有用に機能しています。

十台のパソコンは引き上げられ、古い物と交換され、この事業は無駄だったのか、今後活用されるのか、されないのか。

平野 泰造 議員



芦刈町

小城市農業の将来像は

問 これからの農業に
対し、プランをど
のように計画し実行され
るのか。平成十九年度か

ら「新たな経営安定対
策」で、担い手育成、集
落営農関連についての考
えは。四町の認定農業、
担い手の基準のとらえ方
の違いは。

答 (市長)

日本の農業は国の
基本であり、農業を支え
るたくましい担い手を育
て、誰もが住みたいふる
さをつくることは、私
達の使命であり義務であ
る。現況は厳しいが、基

幹産業である農業振興を
図るには、施設園芸を取
り入れた複合経営の確立
土地利用型農業では、農
地の流動化、集積をし、
意欲を持った認定農業者
や生産組織に総合的な施
策を実施し、担い手不
足、集落営農組織づくり
にはJAとも連携をとり
ながら対応をしたい。

答 (北島産業建設部長)

認定農業者の認定
基準がそれぞれ違うが、
市では基準統一が良いと

総合運動公園の
跡地利用は

問 小城市総合運動公
園は平成元年に構
想案が検討され用地十三
ヘクタール、三億八千九
百万円で購入、平成十二
年末頃までに、総事業費
七億三千万円を投入され
一期工事が進められた。
その後町長選で江里口市
長が初当選され平成十二
年十月臨時議会で九億五

答 (市長)

千六百三十万八千円の減
額を可決、工事を中止さ
れ、約五年が過ぎ現在に
至っている。途中、若手
役員職員で検討がなされ
た。その内容は、これか
らこの地をどうされるか。
自然環境の保全、
工事費、維持管理の問題
等検討を重ね最終的中止
と決断した。若手職員で
検討し「温泉と食のエリ
ア」とその利活用等色々

真子 輝雄 議員



小城市

市民病院・アイル
には巡回バスを

問 小城市の背骨に相
当する道路が縦
に。肉に相当する部分と
して庁舎、学校、下水道

答 (市長)

や市民病院など課題が山
積している。
血液に相当する部分と
して巡回バスがある。市
民病院、「アイル」に行
くのにせめて週一回はバ
スが必要だ。
芦刈は巡回バスは
運行していない。アイル、市民病院など、他町
の方が利用するのは困難
だ。
バス導入の可能性調査
を行い、特に高齢者の要

望も強く、前向きに取り
組む。
アイル、市民病院
など何か所かは工
夫すれば可能だ。
福祉バスは利用者
が限られている。
調査事業は今年度の事
業として計画。

問

望も強く、前向きに取り
組む。
アイル、市民病院
など何か所かは工
夫すれば可能だ。
福祉バスは利用者
が限られている。
調査事業は今年度の事
業として計画。

答 (市長)

福祉バスは利用者
が限られている。
調査事業は今年度の事
業として計画。

三里小は複式学
級か廃校が心配

問 現在の小学校と旧
町域を越えて通学
区域が六百メートル以上
の集落が十か所示された。
小城市内では峰が晴田
小へ、平原が桜岡小へ提
案された。三里小は小規
模校で複式学級か廃校の
憂き目に会う。
審議会は小城市庁舎
で、公開で開催し、八月
に答申の予定。
通学地域変更予定地区
で説明会を開く。

答 (今村教育長)

審議会は小城市庁舎
で、公開で開催し、八月
に答申の予定。
通学地域変更予定地区
で説明会を開く。



小城市三里小学校

住民の意見を聞くこと
が鉄則だ。

市民の声を市政
に反映してこそ

問 住民の要望、意見
は住民に回答すべ
きだ。
街路灯は防犯に役に立
つ。補助を増やせ。

答 (市長)

市民の声を市政に
反映させるため、意見箱
を設け、内容を整理して
直接本人に回答。街路灯
の器具代金は半額補助を
行う。

松尾 義幸 議員



牛津町

**グラウンドの利
用は市民優先で**

問 市内に六つのグラウンドがあり、牛津総合公園の日曜日は、県サッカー協会など十二

月まで予約。第一・三・五日曜日を市内スポーツ団体が優先的に利用できるようにすること。コンピュータによるグラウンドの申し込み、調整を一括管理すること。

答

(今村教育長)

日曜日の市内スポーツ団体の利用は、三日月グラウンド九一・三%、自楽園九九%、牛津総合公園七〇%です。受付の方法は、早いうちに

北島 文孝 議員



小城町

**防災計画は早急
に策定すべきだ**

問 四町が合併して日が浅いわけであるが、防災計画はどうなっているのか。また、職員

に対しても防災教育をやるべきだ。

答

(市長)

合併前の段階より地域防災計画案を策定しているが、佐賀県の計画と整合性を図るため、現在の計画を見直す必要がある。小城市防災計画を策定するまでは、職員用の災害対策マニュアルを策定し、職員に周知徹底を図っている。市民に対しては防災マップを作成し、

**乗馬クラブを誘
致して流鏑馬の
里づくりを**

問 昨年、牛津の夏まぶさめ) が実現しまし

調整を取り統一していきます。生涯学習課で、各施設の子約を一元化できる施設予約管理システムを導入し、どちらからでも申し込める手続きの準備を進めていきたい。

答

(市長)

地名伝説に出てくる牛尾は、小城町でしたが、合併により同じ小城市内に存在することになり、流鏑馬の里づくりと

た。黒髪山の大蛇退治にちなんだ牛津と牛尾の地名伝説を生かし、乗馬クラブを誘致し、流鏑馬の里づくりをめざすこと。アイルに「馬の足湯」を作り、集客と観光に結びつけること。

**小城中学校と三
日月小学校の増
改築は計画どお
りやるべきだ**

問 現在小城市には四つの中学校と八つの小学校があるが、学校施設の現状はどうなっているのか。

答

(今村教育長、次長)

小城中学校につい

ては平成十三年十二月から検討を始め改築という事で、三日月小学校は昨年五月より検討がなされ、増改築という事で両校とも実施計画が出来上がり、現在文部科学省に認可申請を行っている。牛津中学校については改築のための基本構想、基本計画を作成している。若刈小学校についても老朽化が進んでおり小城市において検討する必要がある。

いう展開も考えられます。民間の方が独自に事業を行うことについては、協力を惜しみません。余剰温泉水の利活用で、良い考えがあれば供給しますが、「馬の足湯」は考えていません。



▶ 昨年の牛津夏まつりのパレードに参加する流鏑馬の射手

**分庁方式から本
庁方式へ移行す
る時期は**

問 合併協議会において五年後に本庁方式に移行すると決定されているが、分庁方式の弊害が出ている現状をふまえ市長の考え方は。

答

(市長)

本定例議会後、速やかに庁内に本庁方式移行等検討委員会を設ける。審議会の設置も予定。

副島 孝之 議員



牛津町

教育現場の声で 公正・公平な教科書を

文科省は来年度から変わる中学校の教科書の検定結果を公

表。検定済みの中で歴史・公民の教科書が国内、近隣諸国から大きな

批判が出た出版社もある。今村新教育長は、就

任後間もないが採択委員として、慎重に公平、適

正な判断で選考されると思うが

◎教科書の諸問題について教育長の考えは。

◎採択までの進捗状況と構成メンバーの概要は。

◎教育現場からの意見、意向をどれだけ反映され

るのか質問します。

◎各教科の内容等が住む地区によって大きく違わないように検定制

度がある。文科省の検定教科書から採用する。

◎採択地区協議会は、佐城区管内の教育長と教育

委員長で、選定委員会は中学校は、校長十五人、

学識経験者二人、透明性平等性を増すため保護者

代表四人、その下に調査

委員に部長一人、教頭が主で教諭五人で組織さ

れ、八月末の採択決定にむけて今調査中です。

◎現場の先生には、検定教科書を巡回し、教師間

で意見を交換し選定委員会に提出するので、意見

は十分反映されるよう配慮されていると考える。

最終決定後、採択までの選考過程がわかる議事録の公開は。

慰安婦・強制連行などの

記述が教科書から消えたことについて。

◎議事録の公開は採択委員会が決定する。

◎検定合格本であり、記述の有無は採択の結果による。従軍慰安婦、強制

連行等、いろんな自虐的なこと等、歴史観の違いがあるが個人の意見として申すことは控えたい。

岸川 英樹 議員



芦刈町

ふるさとづくりプランを具体的に

ふるさとづくりプラン四十九項目を具体的に実施するため、

財源がどれだけ必要なのか。実現までのスケジュール、数値目標など、具体的に。

市全体の財政計画を踏まえて、事業達成に必要な財源は、補助金、交付金等、できるだけ一般財源からの支出を軽く

する。数値については、今年度中に工程を作成し、情報公開に努めていきたい。

障害を持つ人たちの働く場所を四年間で、二か所以上つくる。とあるが、どのような計画の中で補助金、交付金を充てるのか。

NPO法人、また民間の中で設置ができないか、行政がサポートして、作業所の設置にむけては積極的に取り組んでいきたい。

下水道事業の見直しは

旧四町の計画をそのまま実行した場

合、下水道事業は早くて平成三十六年までの計画

だ、市内に八か所の処理場が建設できることにな

る。工事費用の削減、工事期間の短縮のために見直しが必要でないか。

今年度に基本計画

◀検定済みの中学教科書



金、あるいは利用料で永久的に支払うものです、四町ばらばらの処理方式なのか、統一をされるのか。

十七年度の一月までに基本構想の策定を予定しています。全体計画の策定は来年の三月までにすることによって進んでいきます。

南里 和幸 議員



芦刈町

知っていますか子供の教科書(中学校の歴史、公民教科書について)

文科省の検定を通った複数の教科

書の中から、地元の教育委員会が「最も良いと思う」教科書を選ぶことになっている。小城市の教科書採択はどのような手順でなされるのか。文科省の検定制度はもともと欠陥教科書が子供達の手に渡らないようにする為の仕組みではなかったのか。しかし今はきちんと機能していない。その最大の原因は、教科書の検定標準の中に特別に配慮を求める「近隣諸国条

項」である。子供達が使っている教科書はバランスに欠け、ことさらに歴史の影の部分強調されている。子供達は日本人としての誇りをなくし自信を失ってしまう。

答 (市長)

私の歴史認識はしっかりと子供達に悪影響、そして日本の国、日本民族というのをしっかりとらえる教科書であってほしい。

答 (今村教育長)

歴史は心の栄養素であり、心の柱である、私達は今の世界の中の日本の状況、よりよく観察して子供達を指導していくのが職員の研修であり、職員の資質を上げていくことだと思ふ。文科省の検定も現代にあった流れの教科書を検定していこうとし、私達も、採択等で知恵を絞って決定していく。



▲中学校の授業風景

東内 健吾 議員



牛津町

ちょっと待て、学校建設

私達は古くなった循環から、国も県も大きな財政負担にあえいでい

ます。なぜ小城中学校は大規模修理で対応できないのか。

これを新築すると、年度の古い牛津中、芦刈小学校の建築要求があります。又耐用年数を過ぎ雨漏りに耐えている市営住宅をどうされますか。

小城市は百三十の公共施設があるが、下水道事業の財政負担など市の長期的財政見直しは大丈夫か。

学校建設は騒音と安全

性的問題があります。通学区で生徒の増減もあるがなぜ急ぐのですか。

答 (市長)

学校などの造改築は小城中では三校の小学校のプールが改築を計画され三日月町は中学校、牛津町は中学校、芦刈町は小・中学校の改造築がそれぞれ計画されています。小城中学校、三日月小学校は昨年度までに、基本設計、実施設計を終

えて文部科学省に申請をしています。五年以内に予定されている計画を進行すると、相当な財政負担となるので牛津中学校は平成十九、二十年、芦刈小学校は平成二十年以降に計画を見直し、プール改築等も中期財政見直しから計画的に進めて行きたい。

また老朽化した市営住宅建設については県と共同して地域住宅計画の策

定が必要となつていきます。既存敷地の活用方法など課題も多く、今後とも十分に検討を行います。

長期の財政見直しについて

は、今後総合計画を進めていく中で財政運営に考慮し、健全財政を維持して行く事に努めます。

小城市の整備を急げ

問 総合庁舎建設は職員削減、経費節減

に必要です。道路網の整備、観光課題を質問します。

答 (市長)

施設の集約は経費削減が見込まれます。道路網整備は骨格的道路整備をし、人・物流の促進を計ります。観光課だけでなく組織は見直しで行きます。

明石 壽彦 議員



牛津町

行政改革について

行政改革の進め方についての考え方を伺いたい。行政改革を実施するに当たって審

議機関の設置とか組織体としての決定方法実施状況の小城市のみなさんへの公表をどうするか。

答 (市長)

六月定例議会終了後私を本部長とし小城市行政改革推進本部を設置する。さらに市内の有識者で構成する小城市行政改革推進委員会を設置して、助言をいただきながら市民の皆様の見解や要望、これまでの成果を踏

まえて小城市行政改革大綱を本年末までに策定し行政改革に取り組んでいく所存です。行政改革大綱の策定状況等広報誌やホームページで積極的に公表する。

問

行政改革の最重要課題は本庁方式への移行であると思う。又、本庁方式に移行した場合の効果をどのように認識しておられるか。

答 (市長)

速やかに庁内での本庁方式移行等検討委員会を設置し又、審議会の設置も予定している。庁内の事務に付いても効率的でない面も一部発生している。本庁方式に移行することによってこれらの問題が解決し、事務の効率化やワンストップサービス施設の維持管理の効率化が可能になる。

問

本庁方式の移行に伴って職員の定数給与の適正な管理が求められるが今の分庁方式では職員の削減は不可能に近いと思うが市長の考えは。

答

(市長) 今現在の分庁方式では業務内容も多岐にわたって逆に人員が不足したり、仕事の内容によっては夜遅くまで残業するという状況も出ている。

深川 高志 議員



牛津町

広域塵芥処理場の建設はどうなるのか

問 天山・多久広域塵芥処理場建設の今後の見通しはどうなるの

か、当初の計画より遅れているようだが、新たな建設計画や建設予定地の選考決定はどのように考えているのか、また、塵芥処理場の作業民間委託の話が出てくるようだが、いつ頃、どのような民間委託方法を考えられているのか。

答 (市長)

市町村合併に伴い協議が中断されていたが、小城市の組織体系も

整いこれから本格的な協議を進めることになりまず、まずは候補地の選定を早急に取り組まなければと認識している。運転業務の一部は既に民間委託をしている。管理運営は、当面は現状のままです。当面は現状のままです。いきいたいと思っております。

職員の意識改革と給与制度の取り組み方は

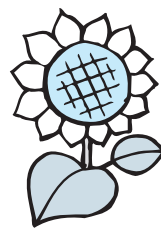
問

小城市となり、市長が打ち出した施策には、市職員の意識改革と給与についても勤務評定制度を導入し、能力給与としてゆくなど、職員の意識を高め、能力を引き出す施策が考えられ、職員の意識改革のための企業研修等も増やし

答

(市長) 努力した者、やる気のある者、成果を上げた者が報われるという基本方針で職員給与等も考えている。勤務評定制度制定の指示をしており、既に担当課職員を人事評

価制度の構築と運用に関する研修に参加させている。企業研修を行う事により、市民の皆さん方のニーズをいち早くつかみ、よりよいサービスを提供することを目標に実施したい。今後は小城市独自の勤務評定制度を導入するため庁内に検討会を設置し、先進地での研修、評定者への研修等を行う予定にしています。



今後本庁方式に移行した中で定数をどういう趣旨に持つていくか庁舎内の検討委員会で組織の問題、定数の問題等十分検討しての効果が出るような形で進めていく。

加藤 邦子 議員



牛津町

住民基本台帳の大量閲覧と個人情報保護法の関係は

行政の住民基本台帳の大量閲覧で、

迷惑メールや戸別訪問など犯罪に関わるような事が頻繁に起こっています。現在どのような対応をされているのか、今後の対応は。

答 (市長)

国でも個人情報保護意識の高まりを受けて検討に入ったようです。小城市でも、閲覧制限に向けて平成十七年度の条例制定、十分検討をし努力をしていく所存です。

ハザードマップの作成と災害時の要援護者支援計画の取り組み

は

問 ① 梅雨や台風の時期が目前、ハザードマップの作成は。

② 作成に当たり地域の実情にあった住民参加型の策定がなされるのか。
③ 地震の時の対応は。
④ 災害弱者への対応とその支援は。

答 (市長)

浸水想定区域回避難場所、避難経路、情報の入手方法など各種防災情報を具体的に表示し二十年までには作成したい。尚、今年度中に小城市防災マップを作成し各家庭へ配布する予定、防災に対する訓練もしていく予定です。

問

九州新幹線長崎ルートについて、国、県、市町村それぞれ

の自治体の財政が困窮している今、巨額な公共事業の費用対効果を考えた時、更に小城市を二分する開かずの踏み切りになる新幹線をどのように思うのか、どう対応していくのか。

答 (市長)

小城市として考える部分、県全体としてどうなのかという、二極面から考えるべきだと思います。

三根 實 議員



小城市

農地の荒廃が迫っている

問 旧小城市の鉱害復旧田の再整備問題は、旧町時代も何回となく取り上げてきたが

は、旧町時代も何回となく取り上げてきたが

答 (北島産業建設部長)

国が五〇%、県が二七・五%、地元が二・五%負担の事業がある。地元の同意がとれた

も前へ進んでいない。二十三年度に計画され筑後川下流土地改良事業で晴気川上流に水をもつてくる事業が進んでいるが、今のままでは死に水になってしまう。鉱害復旧田の再整備を農家、自治体と本気で取り組むべきだ。



小城市内の公害復旧田

嘱託員の報酬は高すぎる

問

アイルの嘱託員の報酬が、月額三十二万円となっているが、特別な能力もなければ、資格もない人への報酬としては高過ぎるのではないか。また報酬以外に、退職金制度を導入している。これは市の条例に違反している。市長はこれをどう考えているのか。

答 (市長)

通常の嘱託職員と比較した場合は高いと思う。来年度は下げた報酬になるよう市の条例に厳守した方針で見直します。

これも福祉だ!

問

市の施設の清掃業務が四千七百万円ほどで業者委託をしているが、危険を伴うような作業は別として、軽微な

答 (市長)

業務内容、金額を含めシルバー人材センターが受注可能である場合は、民業を圧迫しない程度において、委託をしていきます。

公民館の運営と各四町の公民館館長不在、小城市中央公民館の所在地は、牛津の図書室の職員の出勤をフレックスタイムで一日中オープンと日曜日もあけてほしいという市民の要望。芦刈公民館に図書室がまだオープンされていないが夏休み前までには、オープンできるのか。以上四問を今議会で質問しました。

今村 昌幸 議員



小城町

市民の財産、宝の森林整備を

問 森林は、水源かん養、災害の防止など多様な機能を高度に發揮する。その森林が過疎

化などで荒廃している。維持管理が困難な売り上げ分配の分収森を直営化とし、風倒木災害の復旧などで整備をすべきでは。

答

(市長)

現状を調査し、対策の検討に努めたい。また、小城市森林整備計画を十七年度中に策定する。



◀台風による風倒木

文化のバロメーター 下水道の整備を

問 合併小城市で上部に位置し、一番大きな人口集中地区の小城市の整備が急務。中間、下流域を含め市全体の水の浄化はできない。

新市への船渡し平成十六年度計画の三一六haの事業認可はどうなったか。

答 (市長)

事業認可は処理場の位置決定が必要、新市でも計画自体の変更はない。十七年度の事業認可に努力する。

行政組織の適正化と行政改革は

問 分庁方式で約三カ月配置職員の見直し、経験が本場に活用されているか適材適所のこ

とばで終ることなく見直しを。また細分化した課、係は再検討をし、垣根を広くして事務事業の効率化によるサービスの向上を図るべきでは。

答

(市長)

事務量などで配置にバランスを欠いた部分もある。適正な組織、職員配置に努める。

高木 一敏 議員



小城町

通学区域の変更はむずかしい

問 小城中の現職校長からの教育長への就任は市長に強く請われてと聞いているが抱負は。

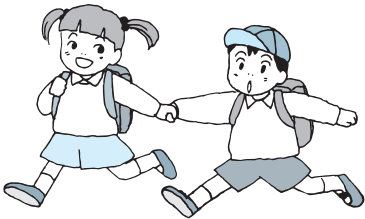
通学区域の問題は合併協議会では、新市で協議する事になっている。通学区域の変更は町村合併よりもむずかしいと思う。いつ頃対象地区に説明するのか。

答

(今村教育長)

豊かな心と確かな学力を身につけたたくましい子供たちを育て、学校教育に対する保護者、市民の安心感、信頼感を高める事が肝要と考えて

いる。通学区域については、審議会の答申が八月末までに上がってくる。その後対象地区へ説明する。



条例の制定に向け検討する

問 住民基本台帳の閲覧制度の見直しを

求める住民が増えている。現在は氏名、住所、生年月日、性別の情報が原則大量に閲覧できる状況にあり、閲覧制度を悪用した悪徳商法や不幸な犯罪にまき込まれる人が増えている、見直しの考えは。

答

(市長)

住民のプライバシー保護の意識が高まって来ている。県の市長会も法改正の要望もしている。地方自治体の条例による閲覧規制を行っている所が出て来ている。佐賀市が今年五月より施行、武雄市、唐津市は上程中。今年度中に条例制定で検討する。

この他に「分庁方式による住民サービスと苦情への対応について」と、「下水道事業の財政的な計画と接続の促進及び砥川浄化センターの管理運営について」も質問しました。

堤 謙太 議員



小城町

小城市における
防災計画は

自然環境の破壊、
地球温暖化による
自然災害が多数発生して
いるが、災害時の活動体

制は。

答

(市長)

牛津庁舎に対策本部を設け、各庁舎ごとに配備体制を取り、勤務時間外は地形などが把握できる職員で対応していきます。

問

ライフラインなどの機能確保と復旧対策は。

自然災害が多数発生して

答

(市長)

公共交通、電気、通信、上水道などにつきましては、各関係機関と十分に連携を取り、速やかに復旧作業が出来るように防災計画に盛り込んでいきます。

問

ボランティア活動の環境整備は。

答

(市長)

社会福祉協議会などと十分に協議し災害ボ

ランティアの皆さんが活動しやすい環境整備に努めてまいります。

問

高齢者、災害弱者に対する防災避難対策は。

答

(市長)

非難マップの作成、緊急通報システムの貸し出しなどを行っており福祉部と連携し名簿の作成、災害時の誘導対策について考えてまいります。

問

防災意識及び訓練の実施について。

答

(市長)

ホームページ、広報などでの市民向け災害マニュアルや避難場所の周知を行い、市民参加型の防災訓練の実施を今後検討してまいります。災害に対する万全の体制で対応できる小城市地域防災計画の策定を指示しております。

▶晴気川



堤 克彦 議員



小城町

課題が残る小城
中学校建設

小城中学校建設は
既に旧小城町議会
で、現在地に賛成多数で
決めています。しかし、

一部の望みをかけ質問します。

今も元女性教師は、現在地での建設には絶対反対されています。その理由として、敷地が狭く、

県道側なので交通事故や騒音の害が想定される。また、思春期の多感な時期、プレハブ校舎生活は重圧を受け遺憾であり、その費用三、四億円は大金であり、捨て金となってしまう。商店主の方々からも現

在地での建設に、まだまだ疑問に思われる声を聞きます。

歴史的背景、まちづくりを大義名分化して、二十世紀を担う子ども達

のことは何にも考えていない。百年の計を考えると、百年の計を考えると、現在地が最適とは思えない。それと、県道側の用地は。

答

(市長)

一部地権者と売買条件の諸条件で断念。再度交渉はしていきたい。

問

交通事故、騒音対策と、町民がかかわりを持つ地域開放型の施設は、学区の見直しで、生徒増に対しての教育は。それとプレハブ代が三、四億円かかると聞くと、良策はなかったのか。

答

(市長)

道路拡幅が計画、歩道がつく計画なので、安全は現状より向上する。歩道橋の設置などの要望も取り組んで行く。

問

騒音について、教室などは南棟に、県道に面する北棟は防音性を図るためエアコン設置や気密性

アップで対応する。昨今、学校内でいろんな事件が多発している。学校の危機管理が問われる。そういった観点から、学校教育と社会教育のあり方を見直さなければならぬ。

答

(今村教育長)

地域開放ゾーン、図書館を中心としたメディアホール、ランチルームを通して地域の方々にも開放は、十分かなえる事はできると思う。

市丸 典夫 議員



小城町

勤務評定制度の活用方法は

市長は公約として職員の勤務評定制度の導入をにかけてあるが、それは職員の給与だ

けのものなのか、別に活用方法があるのか。

答 (市長)

これまでのような年功的な給与体系を見直して、努力をし、そして成果を上げている職員には、評定結果に応じた措置を講じたい。特別昇給、または人事異動、昇任、昇格等の際にも反映させていきたい。まずはこの制度の研究、協議をしっかりと行

い、市民の方々、また職員に納得のいく制度にしていく必要がある。

問

一般職員から見た係長、課長、部長の評価をやってみては。

答 (市長)

一般職員から評価するのもまたおもしろいかもしれない。実際、そういう自治体もある。十分検討内容の中に盛り込んでいきたい。

アンテナショップで農業振興を

問

ほたるの里開設の実績とノウハウを生かし、農業振興に役立つアンテナショップ(農産物直売所)を四年間で二か所に設置するという市長の公約について、場所は決めてあるのか、また設置にともなう基準などの考えは。

答 (市長)

農産物の地産地消、また小城の知名度アップのためには、アンテナショップとしての直売所などが必要だと考える。しかし現時点では具体的に決めていない。大まかな基準として自主運営が見込まれること、供給体制が安定していること、一定の販売高が見込まれること。また周辺の既存店に対する配慮はやっていく。



小城町の農産物直売所

志波 則治 議員



三日月町

予算の目玉政策は

①当初予算は一般会計百五十六億円、特別会計百三十一億円と多額な予算編成であ

り、限られた財源を効率的に活用し、住民の生活上が最大限であり基本は収入、支出の均衡と計画性です。経済変化に対する弾力性、住民の要求に対する行政の積極性です。自主財源五十四億円三五%、依存財源百二億円六五%で今後は自主財源確保が重要である。厳しい財政の中で「あれか」、「これか」を選択し事業の取組みが必要で

す。予算の目玉は。②財政について、財政の健全化を見る経常収支比率と公債費比率の予想は。③基金等の運用は、ペイオフ解禁により一般預金者と同じ保護扱であり、その取扱いは。

答 (市長)

①当初予算は新市まちづくりの計画を基本に事業の必要性、優先性を十分検討し施策として総合長期指針を策作し、総合計画策定事業、行政

運営のための行政評価事業、小城中、三日月小の改築事業等を掲げています。②経常収支比率は上昇することが予想され経費の節減に努めます。公債費比率については総合計画により変化します。財政規模を考慮し健全運営に取組みます。

答 (秋丸助役)

③基金等の運営については安全性、確実性を配慮して金融機関の自

己資本比率等を評価選択して運用し、専門機関の情報を得ながら内部検討委員会等を設置します。

問

国からの権限移譲、三位一体改革等で補助金の削減は避けられません。合併特例債もあるがこれも借入の一部で使い過ぎないように、中、長期計画を早急に取組まれたい。市長は小城市民の生活の安心、安全のために常にトップ

答 (市長)

地域の活性化、市民の安心、安全のために自らトップセールスに努め、この市に住むことに誇りを持ってもらう地域づくりを目指します。

セールスに努められることを強く求めます。

相原 一郎 議員



小城町

職員給与の適正化について

問 地方公務員法によれば、自治体職員

の給与は条例で定めるとされており、給与に関する

る最終的な決定権は議会

にあり、労使に委ねられて

いるものでもありません。

専決処分された給与

条例は三月の臨時議会で

承認されましたが、格差

は正のための新基準額の

承認とは別問題だと考え

ます。そこで新基準額は

だれがいつ何を基準に決

めたのか。

答 (市長)

小城市が合併した

ときに県内の人口などが

類似している市の給与な

ども勘案し標準的な給与

基準を定めました。

問 最高の職員は四月

に五万六千円昇給

している由ですが率にす

れば一六%です。一気に

高いレベルに合わせる理

由が理解出来ません。そ

こで小城市となり市長助

役不在のまま、誰の指示

で四月一日給与引き上げ

を実施したのか質問し

ます。

答 (永瀧総務部長)

給与の調整につき

ましては、一月末日に四

首長会にて基本的方針が

示され、詳細については

今年二月十六日の助役総

務課長会にて四月一日か

ら調整することを決定し

ました。今回は合併に伴

う調整の措置あり職務執

行者の決裁を頂きました。

問 仮に六万円の差が

ある場合、五年で

調整するということは毎

年一万二千円ずつ上げて

調整するのが一般的常識

であります。部長は合併

に伴う調整措置だと云わ

れるが、常識を逸脱した

ようなことは私を含め市

民の理解は得られないと

思います。市民の多くが

合併に同意したのは行政

経費の削減が出来ると信

じたからであり、職員

みの合併太りは許されな

いと考えます。格差は正

は必要ですが、緊急性は

全くなく五年を目途に調

整すれば十分であり市長

誕生後本議会に提案して

引き上げるのが常道だと

考えますが、市長の所見

を聞きたい。

答 (市長)

五年間の調整の範

囲を超えた人は、その金

額を前倒しして、四月に

引き上げたものと理解し

ております。当時の職務

執行代理者が承認された

事項でもありますので内

部の方でしっかりと検討

していきたいと思ってい

ります。

飯盛 祐輔 議員



芦刈町

南北道路、新庁舎建設、幼保一元化の考えは

問 新市の均衡ある発

展のためには、南

だ。新庁舎の場所は、平

成十八年度中には策定し

たいと言われている総合

計画を踏まえて検討し、

決定すべきではないか。

それと幼保一元化に対す

る考えは。

答 (市長)

県道改良の早期完

成の要望や市道整備計画

により、南北軸の道路機

能の強化を検討する。

新庁舎は、財政事情も

踏まえながら、総合計画

と並行して考えて行く。

幼保一元化は、検討委

員会等の組織を立ち上げ

て、実現の努力をする。

問 住民の意見を聞いて

総合運動公園跡

地の有効活用策

て総合運動公園整

備事業は中止された。若

手十三人のプロジェクト

チームの活用策はどんな

ものがあつたのか。実現

できない現況に至つた理

由をどう分析し、今後の

市政に生かすのか。

答 (市長)

国の補助金を断つ

たので、町単独予算でし

なければいけない。しつ

かりと責任を持って利活

用に努めて行きたい。

小城中学校改築

問題の再考を

問 一番の問題点は、

現在地での全面改

築に尽きる。なぜ現在地

での改築にこだわると

か。安全性や狭い敷地を

考えると全面移転が最善

の方法だと思うが。

答 (市長)

色々意見はあつた

が、最終的に現在地での

改築を決断した。歩道橋

の設置等も含めて、より

安全には配慮していく。

答 (今村教育長)

優しさが無い計画

との事だが、食育のため

のランチルーム等計画し

ている。



◀改築が決まった小城中学校

中島 隆浩 議員



芦刈町

同和対策事業は「人間の尊厳」上即時終結を

同和対策事業は地区の人達の祖先の身分を根拠に出て来たも

のであり今日「人間の尊厳」上対策事業は地区の人達に対してむしろ失礼な、不尊な対策としか考えられない。即時終結すべきと思うが？

答 (市長)

同和問題は非常に古い歴史があり、なかなか全国でも色々な差別事例が出て来ている状況の中で市としても同和問題に対しては今後も取り組み啓発運動も継続してい

少子化に歯止めを

きあらゆる差別の解決と人権擁護に取り組んでいく。

問

少子化対策として各自自治体に今後十年間の地域行動計画の策定実施が義務づけられたが、これを見ても生まれて来た子供さんの育成のための行動計画でかんじんの結婚、出産のための

答 (市長)

障壁となっているフリーターの雇用改善の問題、仕事と育児の両立の問題等の解決にはふれられていないが少子化の歯止めになると考えるか。

仕事と育児とをどう両立させるかが先ず、一点、現在の産業構造の中で雇用をどのように考えていくかということが二つ目の問題になって来ると思う。雇用の問題は



田植えが終わった水田

地域で解決出来るものは地域で考えていく。地域の子供たちが安心・安全で生活出来るよう福祉事業も考えて行く。

この他に「今後十年間の農政の指針となる「農村基本計画」のもとで大多数の農家を排除して大規模農家だけで、また生産や価格を市場まかせにし輸入野放しで小城市農業を守り地域の成り立ちが出来るかを質す。

大坪 徳廣 議員



三日月町

旧四町の調和の早期醸成について

新小城市の表現のしかたを大方の皆さんが『天山から有明海

答 (市長)

旧四町の垣根をなくし、みんなが同じ思いで一緒に小城市を作り上げる事を第一と考える。祭りというのはそれぞれ

職員の一体感の早期達成について

の地域の元気のバロメーターであると認識している。お互いの交流を深め継続していただきたい。

問

新体制のスタートを切り旧町の思いも早期に乗り越え、職員の一体感の早期達成が望まれる。

答 (市長)

合併を協議する中

小城市の基幹産業について

で旧四町の職員同士お互いに事務・事業の調整のため何百時間も顔を突き合わせ一緒に仕事をしてきた経緯・経過があり、職員間のコミュニケーションは、うまく図られてきていると思う。

問

産業の発展は、地域の発展はもとより、市民生活の基盤である。ひいては、市の財政

答 (市長)

をも左右する。旧町それぞれ基幹産業として位置付けられた産業があったが小城市の基幹産業の位置付けは。

小城市には農林水産業を始めとして商業・工業・飲食業・サービス産業などの産業があり、四町が合併してそのバランスがほどよくとれている市であると考え。近年、国の政策が大きく変わるうとしている中、基

本庁舎建設について

幹産業である農業を元気にするための条件整備等を推進し、売れる農業づくり、後継者が希望をもつて就農できる農業の振興に努力したい。

答 (市長)

検討委員会、審議会等で検討し、この四期間で方向性を出したい。

江島佐知子 議員



小城町

連携を取って
サービス向上を

問 小城市になり、電
話や窓口での対応
についての苦情が多く聞
かれますが、外部での研

修だけでなく、市役所内
の連携を取ることが重要
なのでは。

答 (市長)

市民の目線に立つ
たサービスを提供できる
よう、企業研修、講師を
招いての接遇研修なども
実施しながら、サービスの
向上に努めます。

委託業務を見直
しコストダウン

問 平成十七年度予算
中約十億八千万円
の委託料が計上されてい
ますが予算全体の約七％
にあたります。自分たち
で出来ることはするとい
う発想や、発注の工夫な
どで経費削減ができるの
では。また、業務を丸投
げするのではなく、見極
めをどうされていますか。

答 (市長)

経費縮減、変動性、
専門性、単純軽微なもの

という四点から業務委託
しています。業務内容は
多岐にわたりますが、他
の自治体の事例なども参
考にしながら、効率的、
効果的にしていきたいです。

次世代育成支援
事業は小城市ら
しさを

問 昨年度各町で「次
世代育成支援地域
行動計画」が取りまとめ
られましたが、小城市の

行動計画の中に地域性や
市民の意見をどう生かし
ていきますか。また、実
効性のあるものにするた
めの取り組みは。

答 (市長)

四町の行動計画を
参考にしながらも、私の
ふるさとづくりの福祉プ
ランも実現できるように取
り組みます。

答 (古川福祉部長)

八名の方で策定委

岡本 和泰 議員



牛津町

下水道事業の現
状と今後の計画
は

問 現在、下水道事業
は、合併前に旧町

単位で策定された計画に

答 (市長)

小城市の下水道事
業は八地区の計画があり

基ついて、事業が進めら
れているが、各町間で大
きな差があります。今後
小城市全体としての計画
の見直しと今後の年次計
画について又、使用料や
受益者負担金の差額の調
整はどうするのか。小城
浄化センターの建設場所
が牛津江川沿いに決定さ
れた理由を質問します。

完了しているのが三処理
区、事業を行っているの
が四処理区です。見直し
については予算成立後に
作業に着手し、今年度
基本計画の見直しを行
う。使用料や負担金につ
いては統一を図っていき
たい。小城処理区の処理
場については幾つかの候
補地の中から条件的にい
いという事で決定され
たと言ふことです。処理
水の放流については、下
流域の地元の方にはご了

地元農産物の地
産地消を

問 食生活の変化や食
品の安全に対する中
関心が高まっている中
で、地産地消が各地で行
われています。小城市に
おいても学校給食や市の
施設での地元農産物の利
用拡大を進めることにつ

解を得るために説明をし
ていく必要があると思っ
ています。

答 (市長)

学校給食への地元
農産物の利用状況は県平
均を大きく上回っており
ます。今後とも教育委員
会と連携して、一層地元
農産物の利活用を努力を
していく。市の給食関係
の資料には、地産地消と
いうことで地元食材を
使っていくという、基本
方針を押し進めたい。

答 (今村教育長)

食育、食の教育と
いうのが見直されており
ます。学校教育の中でも
地産地消について、小城
市の特性、基幹産業、そ
ういうものを考えながら
きちんと取り組んでいき
たい。



▶子育てサロンと高齢者の
七夕会



中島 正樹 議員



小城市

保健福祉は重要課題

問 今後一層高齢化が進む中、市民が住みなれた地域や家庭で安心して暮らせ、いつまで

も生きがいを持って生活ができるように、生活支援や介護予防事業に対する考えと、今後どう進捗していくのか。

答

(市長) 新市まちづくり計画においても、高齢者福祉の強化を図ることを基本方針としている。

本年度策定される介護保険事業計画と高齢者保健福祉計画との整合性を留意して、有機的な連携

愛される市民病院とは

問 市民から安心、安全で愛される市民病院を目指すための考

を保ちながら身近な生活圏域での高齢者の生活の持続性が確保されるサービス体系の整備を目指していく。

答

(市長)

医療環境を取り巻く制度的変化の波に直面し、病院経営は今厳しい局面を迎えている。今後は、医療の質の向上と効率化を両立させながら、愛される病院を目指す。

金原 修光 議員



小城市

合併後の行政改革

問 今年度予算は歳入不足で、基金(貯金)から十一億円を取り崩し、歳入に充てている。

また、今年の借金返済が十五億円。合併で自治体も大きくなり行革を進めるべきだ。

答

(市長) 総合計画の策定に合わせ、行政評価システムを構築し取り組む。

巡回バス運行を急げ

問 合併協議会で福祉バスは、合併まで

に調整し実施するとしているが、調整していない。本年予算に七百万円のバス導入検討調査費があるが、運行予定は、来年四月。お年寄りに配慮し、急いで市内を周遊できる巡回バスの実現に努めるべきだ。

答

(市長)

検討を早目にやり、一日も早く小城市の交通体系の整備に取り組む。

ETC専用I・C設置よりE・O三号バイパス・有明海沿岸道が先

問

(市長) 長崎自動車道小城市パーキングから出入できるETC専用インター設置を考えているが、市内北南を通る、二〇三号バイパスや有明海沿岸道よりインター設置が優先され、調査・建設・一部I・C本体管理費など市が負担となり費

用対効果から問題だ。

答

(市長)

ETCの搭載状況から十七年度から調査したい。

泥土が堆積・航路支障

問

(市長) 水産試験場前から下流の六角川は、泥土が堆積し航路機能として問題だ。

合併により重点的な財

政支援措置の活用があり市として、実態調査をし、航路しゅんせつに取り組むべきだ。

答

(市長)

調査し効果的な事業で取り組む必要があると認識している。



真子 茂弘 議員



小城町

小城授産場の現状認識と展望

問 昭和三十三年設立、現在十六名の利用者により生きがい対策の一環として運営され

てきました。市内利用者の確認と二名の待機者の入所などにも対応すべきではないか。

答 (市長)

生活保護法第四十条の規定により運営されてきました。三十名が定数ですが施設の内容から増員は無理、NPOなどとの連携により二か所位通所施設の創設を願っております。



小城町授産場

ETC専用イン
ター設置には

問 北浦の現況からして難問でしょうか

観光発展の意味からも情勢を勘案し、測量積算し、市の財政と対比しながら対応してほしい。

答 (市長)

二〇〇七年には七〇%の設置率との事。小城市の観光浮揚にも不可欠と考えますので、

測量積算し根拠を示し設置できるよう最大の努力をします。

中山間地のミカ
ン農家への対策

問 四十有余年ミカン

専門で生き抜いてきました。三百万ト時代から百万ト時代へ突入、後継者ゼロに等しい状態です。退職者農業を受け入れるためにもミニ圃場整備など必要ではないか。

答 (市長)

輸入果実の増加と需要の低迷などから農業経営の弱体化に連なっております。農協の生産組織など連携をとりながら中山間地の基盤整備にも鋭意取り組んでいくべきだと考えております。

例：清水のカット圃場整備、東部農協、長崎の北高農協

西田 喜男 議員



小城町

本庁方式への移行時期・場所は

問 二十一世紀を迎え、地域社会は激

動する社会情勢の中で日々進展し、変革の時

あります。議会も行政も迅速かつ的確に対処しなければならぬ。

小城市は合併に際し重要課題を合併後に先送りしてきた。その最たるものが庁舎問題である。市庁舎は市民のシンボルであり、生活のよりどころである。しかし、市庁舎を新たに建てれば財政に重く負担がかかり、庁舎建設費だけでも四十億円と言われている。今日の厳しい財政事情からして

新築するのは甚だ難しいと言わざるをえない。現在の分庁方式が市民の批判を浴びている時だけに、新庁舎を四町のどこに、どんな形で置くのか、質問します。

答 (市長)

事務の効率化、施設の維持管理の効率化などで本庁方式への移行は必要不可欠である。速やかに庁内検討委員会を設置し、本庁方式移行につ

行財政改革の取
り組みは

問 多くの市町村は住

民税収の落ち込みにより自主財源の減少と依存財源の増加が顕著になっており、その一方で地方自治体の役割はますますふえ、行財政改革に

よる効率化とコストダウンが急務である。特に注目されているのが地方公務員の給与問題であり特別昇給の是正である。条例に基づき学歴、在職年数、役職などを加味し金額を、算出することだが、まさに硬直した年功序列型賃金制度である。公務員においても成果主義の時であり、年功ではなく能力、実績主義の時代ではないか。

答 (市長)

地方公務員の給与が民間企業賃金の状況から乖離していることは十分に認識している。人事院の「給与構造の基本的見直し」では五%の引き下げと年功的給与上昇を抑制し職務、職責に応じた給与案も提示されている。今後、地域における官民格差をより正確に算定し給与体系の改善に努めていく。

上瀧 政登 議員



牛津町

牛津中の建設と給食

牛津中学校の建設が急がれますが、芦刈中との統合なのか単独なのか。また完成する

までの間の給食はどうするのか。

答 (今村教育長)

牛津中単独校で十九年度、二十年の二カ年で整備を行う計画になっていますが、新市の学校のあり方について十分検討する必要がありますと考えています。又、給食についてはその役割は十分認識しており早目に結論を出す方向で考えております。



▲改築が待たれる牛津中学校

将来を見据えた財政の計画・運営を!

問

四町合併し、政府より財政的な支援は受けられるが厳しい事には変わりません。着手しなければならぬ大型事業は何か。将来にツケを回さないようにするにはどうすればよいか。

答 (市長) 小学校・中学校の

増改築・下水道事業・塵芥処理場等の建設があります。来年度中に総合計画を策定し五十年後の小城市にとって負の遺産とならないように努めていきます。

南里 茂幸 議員



小城町

学校給食の使命は大変重要だ

学校給食は、知育、德育、体育と言われているが、最近はこの三育に加え、特に食育が

大変重要な課題となっており、小泉首相も食育を国民運動として展開すると述べられておられます。

健康な心と体をつくり出すよう叫ばれており、最近では孤食、粗食、偏食が多いと聞き及んでおります。

学校給食はこのような食の現状を改め、子供たちの心と体の健康づくりに重要な役割をはたしています。学校給食の方法

について検討されましたか、お伺いします。

答 (今村教育長)

早くから各学校の給食の方法については、何んらかの形で取り組みなさいというような意見を頂いております。弁当給食をする場合、委託をする場合、いろいろな形で見積りをとっている状況で進んでいません。

問

三日月小学校が改築で、給食センターの位置を見てみますとやはり従来どおりの東の方に位置しております。中学校の方に配食しておられるが、手押し車で毎日運んでいるとのこと、せつかく今度改築されるなら方法を考えているのかお伺いします。

問

学校給食は地産地消が注目されておりますが、その土地でとれた作物を食べることは農業本来の姿に戻ると言われております。

命をはぐくむ安全な食物への安全度はどのようにしておられますか。

答 (市長)

子供たちの給食については食育という観点から、十分我々も配慮をしていくことを心がけています。



▶三日月小 給食調理室

答 (松本教育次長)

給食室で給食をつくって、三日月中学校に

香月千エミ 議員



三日月町

中学校建設場所 安全性は大丈夫か

問 小城中学校は現在地において全面改築の予定で計画が進んで

いるが、現在地での建設の利点、決め手は何か。

答

(市長)

古くからの歴史、文教的エリアであり、中心的な便利な場所である。北側グラウンド・南側校舎案は住民の理解が得られず、北側校舎・南側グラウンドの場合、プレハブが必要、南側敷地拡張という判断をした。

問 この場合学校敷地内に二本の公道が

通り騒音問題も含め大変危険でリスクを呼び込む要因となり問題である。道路横断時の安全が確保されていない。

答

(市長)

県道（小城・富士線）拡張に伴う対策としては十分な歩道が整備される（四mの歩道が両側につく）し、歩道橋の設置について県に要望して

いる。

問

かなりの時間と労力、費用をかけて論議された、地域開放型学校づくりが目指したものの、町民の思いが、今回の建設計画の中に活かされていないのではないか。

答

(市長)

学校での事件等が多く出てきて、危機管理に対応したセキュリティの確立という問題にも直

面し当初の計画を修正し、子どもたちの学校教育を基本におくという原点に戻った。

問

周辺町からの通学区域を配慮しているか。

答

(市長)

現在一学年六クラスだが、生徒増に対して十分対応できる。

小城中学校 建築予算承認される

待ちにまつた建設へ

建設場所を含め、安全性の確保の問題等で大いに議論のあった小城中改築事業については、今年度分約七億八千九百万円の予算が議会で承認され

いよいよ建設工事が始まります。

県道小城・富士線の道

路拡幅に伴う中学校敷地狭小の問題は、周辺用地の確保によって解決し、中学校の長い歴史の中で教育環境、通学距離等が最適であるとして現在地が選ばれました。

学校施設の一部開放ゾーンとして、北棟の中の音楽室、美術室、アリーナ、ランチルームな

どが地域の住民の活用に対応できるものと考えられています。

北側県道の安全性については、十分な歩道整備と共に歩道橋の設置について要望、配慮されます。（今年度約六億二千九百万円、総事業費約三十四億六千万円）



三日月小学校 増改築工事、決まる

児童数一〇〇六名

今や県下一、二のマンモス小学校となった三日月小学校。プレハブ教室で対応してきた同校の増改築費が議会で承認されました。現在の南校舎が取り壊され、北校舎と体育館の西側にコの字形、三階建の校舎が建設される予定です。普通、特別教室の確保、運動場の拡張等が見込まれ、今年度の事業費は約四億五千五

百万円です。（総事業費約十一億五千七百万円）



◀たくましく育て!!

